

令和6年度 第2回 静岡市認知症対策推進協議会

次 第

日 時：令和7年3月17日（月） 19:15～20:45

会 場：静岡市役所静岡庁舎 新館3階

コミュニティ&ダイニングスペース 茶木魚

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- | | |
|---------------------------------|-------|
| (1) 令和6年度静岡市認知症施策の実績について | (資料1) |
| (2) 令和7年度静岡市認知症施策年間計画（案）について | (資料2) |
| (3) 令和6年度静岡市認知症疾患医療センター指定更新について | (資料3) |

4 閉 会

【配布資料】

- | | |
|------|------------------------------|
| 資 料1 | 令和6年度 静岡市認知症施策の実績について |
| 資 料2 | 令和7年度静岡市認知症施策年間計画（案） |
| 資 料3 | 令和6年度 静岡市認知症疾患医療センター指定更新について |

令和6年度 第2回 静岡市認知症対策推進協議委員名簿

日時：令和7年3月17日（月）19:15～20:45

会場：静岡市役所静岡庁舎

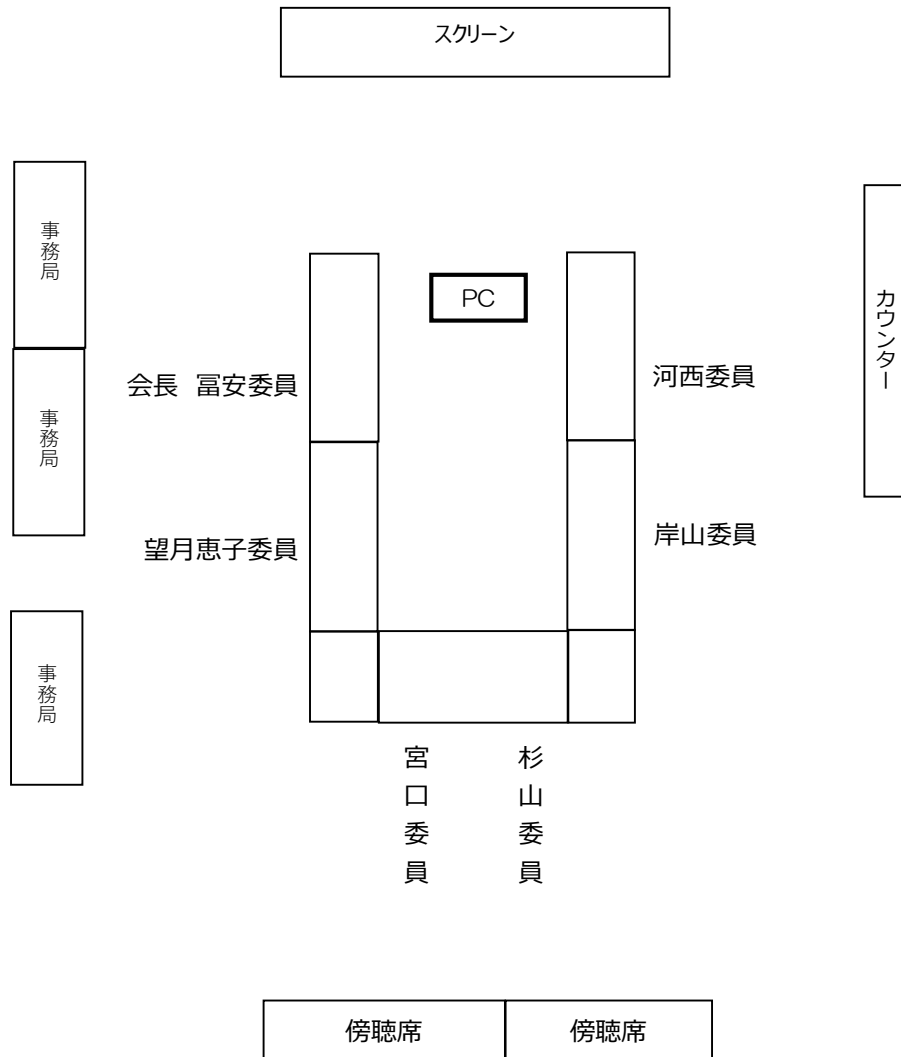
新館3階 コミュニティ＆ダイニングスペース 茶木魚

（五十音順・敬称略）

	所 属	職 名	氏 名 （敬称略）	出席予定
1	一般社団法人 静岡市ケアマネット協会	理事	井出 智子	オンライン
2	一般社団法人 静岡市薬剤師会	会長	河西 きよみ	来場
3	公益社団法人 静岡県看護協会	副地区理事	岸山 眞理	来場
4	社会福祉法人静岡市社会福祉協議会 地域福祉推進課	課長	北島 啓詞	欠席
5	一般社団法人 静岡県介護福祉士会	理事	櫻井 知世	欠席
6	一般社団法人 静岡県社会福祉士会	理事	杉山 芳野	来場
7	一般社団法人静岡市静岡医師会	会長	鈴木 研一郎	欠席
8	一般社団法人静岡市清水医師会	理事	宗 幹之	オンライン
9	市民委員		田村 由佳利	オンライン
10	静岡県公立大学法人 静岡県立大学	教授	富安 眞理	来場
11	公益社団法人日本認知症グループホーム協会 静岡県支部	顧問	堀越 一輝	オンライン
12	静岡県精神科病院協会	監事	溝口 知裕	オンライン
13	市民委員		宮口 宏美	来場
14	静岡介護者きずなの会	代表	望月 恵子	来場
15	一般社団法人 静岡市清水歯科医師会	副会長	望月 亮	欠席

令和6年度第2回静岡市認知症対策推進協議会 座席表

令和7年3月17日（月） 19:15～20:45
静岡市役所静岡庁舎 新館3階
コミュニティ&ダイニングスペース 茶木魚



オンライン参加

副会長 宗委員 田村委員
井出委員 堀越委員
溝口委員

令和6年度 静岡市認知症施策の実績について（令和7年1月末時点）

I 認知症への理解を深めるための普及・啓発

- ① 認知症サポーター養成講座：地域住民や企業、学校などの団体にキャラバン・メイト（講師）を派遣し、認知症について正しく理解し、認知症の人の家族を見守る「認知症サポーター」を養成する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R6計画	R6実績
開催回数	110回	65回
養成数	5,400人	1,840人
サポーター数（累計）	76,100人	69,920人

●認知症サポーター養成講座の開催回数・サポーター数

回数：65回、サポーター数：1,840人（累計69,920人 ※H18年度から）

年 度	開催回数	サポーター数（人）	うち、こどもサポーター（小・中学生）（人）	サポーター数累計（人）	うち、こどもサポーター累計（小・中学生）（人）
（18～26年度）				38,039	3,118
平成27年度	162	5,821	964	43,860	4,082
平成28年度	118	4,454	782	48,314	4,864
平成29年度	101	3,627	422	51,941	5,286
平成30年度	119	4,208	445	56,149	5,731
令和元年度	110	3,755	267	59,904	5,998
令和2年度	30	802	244	60,706	6,242
令和3年度	71	2,226	113	62,932	6,355
令和4年度	90	2,404	638	65,336	6,993
令和5年度	97	2,744	994	68,080	7,987
令和6年度	65	1,840	409	69,920	8,396

- ② 認知症ミニ講演会（4者協働事業）：市民を対象に、医師によるミニ講演会を開催し、市民の認知症についての知識や理解を高める。

・令和6年度実施：1回（大里中島地区、23名）

- ③ パンフレット「みんなの認知症予防」の作成・配付：認知症の予防や対応等についてのパンフレットを作成・配付し、市民の認知症についての知識や理解を高める。

●パンフレット「みんなの認知症予防」の作成数・配付先

・作成数：11,000冊

・配付先：自治会長、民生委員・児童委員、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、公共施設 等

Ⅱ 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

- ① かかりつけ医認知症対応力向上研修：かかりつけ医に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の人本人とその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施し、認知症の発症初期から状況に応じた認知症の人への支援体制の構築を図る。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R 6 計画	R 6 実績
開催数	1 回	1 回
受講者数	30人	36人

●かかりつけ医認知症対応力向上研修の開催状況

・受講者数：

36人（累計 514 人）

オンライン研修	日 時	配信方法	参加人数
	10 月 5 日（土）15:00～19:00	Zoom	36 人

講義内容	静岡会場
講義Ⅰ 「かかりつけ医の役割」編	ゆずの木町内科・循環器科 小長井 英生 医師
講義Ⅱ 「基本知識」編	静岡てんかん・神経医療センター 小尾 智一 医師
講義Ⅲ 「診療における実践」編	田中消化器科クリニック 池谷 賢太郎 医師
講義Ⅳ 「地域・生活における実践」編	宗内科医院 宗 幹之 医師

- ② 認知症サポート医養成研修：認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R 6 計画	R 6 実績
養成数	3 人	7 人
配置圏域数	29 圏域	29 圏域

●令和6年度認知症サポート医養成研修受講者数

認知症サポート医養成研修受講者数（人）

・静岡市静岡医師会員：5 人

・静岡市清水医師会員：2 人

区	令和5年度	令和6年度	累計
葵 区	2	3	31
駿河区	4	2	24
清水区	2	2	30
合計	8	7	85

- ③ 認知症疾患医療センターの運営：認知症の疑いのある人に、かかりつけ医等からの紹介により、速やかに鑑別診断を行う認知症専門の医療機関を運営する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R6 計画	R 6 実績
運営箇所数	3 箇所	3 箇所

【認知症疾患医療センター指定病院】静岡てんかん・神経医療センター、溝口病院、静岡市立清水病院

●認知症疾患医療センター実績

		静岡てんかん・ 神経医療センター	溝口病院	静岡市立清水病院	合計
外来件数（件）		1,979	743	472	3,194
うち鑑別診断（件）		264	140	111	515
入院件数 （件）	疾患医療センター	0	75	0	75
	連携病院	0	1	0	1
専門医療相談（件）		1,292	1,142	361	2,795
市民公開講座（回）		1		1	2
専門職研修（回）		1		1	2

- ④ 認知症初期集中支援チームの設置：認知症の人やその家族に早期から関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R 6 計画	R 6 実績
検討委員会の開催	2 回	2 回
チームの活動	実施	実施

- 認知症初期集中支援チーム設置箇所
静岡てんかん・神経医療センター（疾患チーム）
地域包括支援センター（包括チーム） 29 箇所

● 認知症初期集中支援チーム支援実績 （R 6 年 12 月現在）

認知症初期集中支援チーム 令和6年度新規ケース実績

チーム	圏域	対象 実数 (件)	訪問 (回)	1人に対する 平均訪問回 数 (回)	初回訪問 までの 平均 日数(日)	引継ぎ・ 支援終 了した 対象実 数(件)	引継ぎ (終結) までの 平均 日数 (日)	モニタ リング 延べ数 (回)	チーム員 会議開催 回数(回)	チーム員 会議に 参加した 医師 延べ数(人)
包括 チーム	大里高松	1	26	26	37	1	196	0	6	2
	岡船越	※チーム員会議の結果、総合相談で対応							1	
	小鹿豊田	※チーム員会議の結果、総合相談で対応							1	
疾患 チーム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

● 疾患チーム 後方支援実績

チーム	チーム員会議 参加回数 (回)	対象者訪問 回数(回)	電話相談・助言指導・連 絡調整等に対応した支援 対象件数(件)	モニタリング実施回数 (回)
疾患チーム	5	0	4	0

⑤ 認知症介護実践者等研修の実施：認知症高齢者に対して適切な知識と技術により介護サービスが提供されるよう、事業者の知識、経験、職種等に応じた研修を開催し、介護技術の向上、専門的な人材の養成など、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。

活動指標（年）	R6 計画	R6 実績
各研修開催数 ・実践者研修 ・開設者研修 ・計画作成担当者研修 ・実践リーダー研修 ・管理者研修 ・指導者養成研修	各研修 1 回	各研修 1 回

● 認知症介護実践者等研修実績

研修名	研修日程	参加者人数
実践者研修	講義 5 日間＋職場実習	90 人
実践リーダー研修	講義 7 日間＋職場実習	14 人
開設者研修	講義 1 日間＋職場体験	6 人
管理者研修	講義 2 日間	25 人
計画作成担当者研修	講義 2 日間	14 人
指導者養成研修	講義 15 日間＋職場研修	0 人

- ⑥ 認知症地域支援推進員の配置：医療機関と介護サービス及び地域の支援機関を繋ぐコーディネーターとして認知症地域支援推進員を配置し、医療と介護の連携強化、認知症カフェへの助言など地域における支援体制の構築を図る。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R6 計画	R6 実績
計画連絡会の開催	2 回	2 回
新任者研修の実施	1 回	1 回
現任者研修の実施	1 回	1 回

●令和6年度認知症地域支援推進員研修

※新任者4名、現任者2名オンライン受講。

- ・地域包括ケア・誰もが活躍推進本部 1人
 - ・大里高松地域包括支援センター 1人
 - ・城西地域包括支援センター 1人
 - ・興津川地域包括支援センター 1人
- (現任者)
- ・賤機地域包括支援センター 1人
 - ・長田地域包括支援センター 1人

認知症地域支援推進員研修受講実績

区	圏域	受講者数(人)					
		新任者		合計	現任者		合計
		H27～R5	R6		H27～R5	R6	
葵区	城西	1	1	2	2		2
	安西番町	1		1			0
	城東	1		1	1		1
	伝馬町横内	1		1			0
	城北	1		1			0
	千代田	1		1	1		1
	美和	1		1			0
	賤機	1		1		1	1
	安信			0	1		1
	薬科	1		1			0
駿河区	小鹿豊田	1		1			0
	八幡山	1		1			0
	大谷久能	1		1			0
	大里中島	1		1			0
	大里高松	1	1	2	1		1
	長田	1		1		1	1
	丸子	1		1	1		1
清水区	港北	1		1			0
	興津川		1	1			0
	港南	1		1			0
	高部	1		1	1		1
	松原	1		1	1		1
	有度	1		1			0
	蒲原由比	1		1			0

●認知症地域支援推進員連絡会

令和6年7月2日(火)実施

- ・参加者:30 人

令和7年3月12日(水)実施

※認知症地域支援推進員連絡会内

- ・内容:認知症地域支援推進員研修受講者による伝達研修
- ・参加者:30 人

Ⅲ 若年性認知症施策の強化

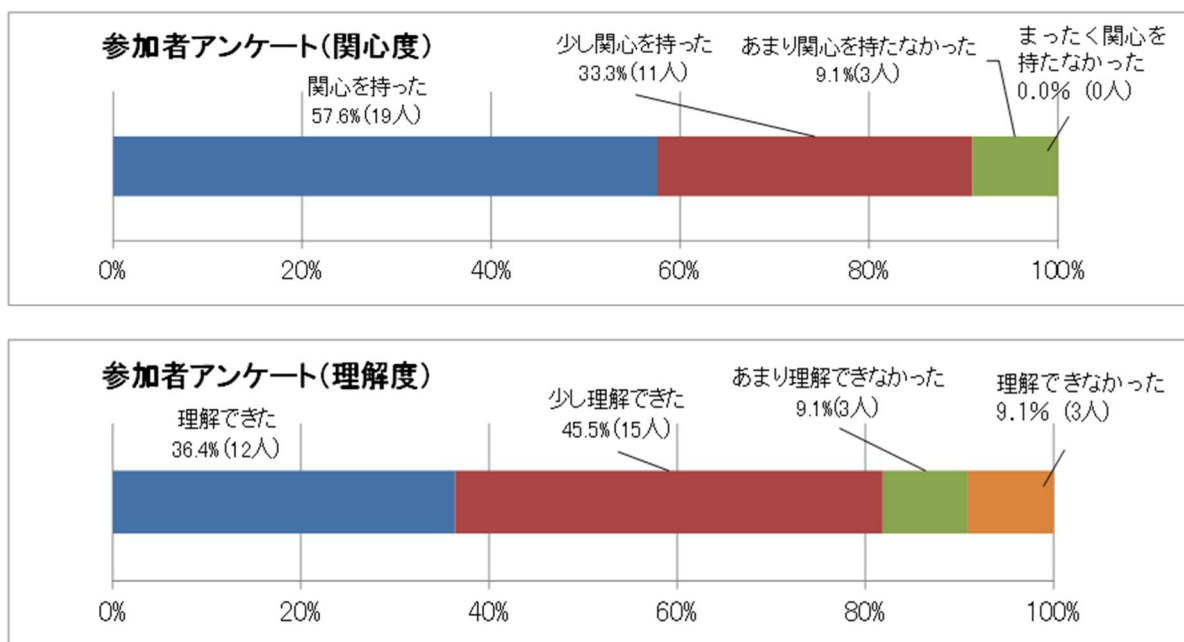
① 若年性認知症普及啓発事業：広く市民の認知症に対する理解促進を図るため、認知症の当事者やご家族からのメッセージをとおり、市民が認知症を“自分ごと”と捉え、認知症と共に生きる備えと心構えについて考える機会を創出。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R 6 計画	R 6 実績
若年性認知症について理解が深まった受講者の割合	80%	81.9%

●若年性認知症普及啓発事業（静岡ジェードとの連携事業）の開催

- ・月 日： 令和7年2月2日（日）
- ・会 場： 静岡市南部体育館 卓球場
- ・参加者： 46 人（10 歳未満～70 歳以上まで）
- ・内 容： 当事者のご家族からのメッセージ
当事者・家族も含め、誰もが楽しめる卓球ゲーム、VR 認知症体験ブース設置
- ・アンケート結果 アンケート対象者 33 人、回答者 33 人（回答率 100.0%）



② 若年性認知症の啓発：若年性認知症を含む認知症の早期発見につながる簡易チェックや相談機関を表示したカードや若年性認知症に関するリーフレットを、上記イベント等で配布した（今後も配布予定）。

Ⅳ 認知症の人の介護者への支援

- ① 認知症カフェ運営：認知症カフェの普及を図り、身近な地域で認知症の人やその家族と地域の専門職、住民等とが交流し、認知症の人及び介護をする家族の負担を軽減するとともに、地域住民の認知症への理解を深める。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R6 計画	R6 実績
日常生活圏域に1箇所以上の開設	17圏域	15圏域

●認知症カフェ認証数 19 箇所



年度	令和5年度				令和6年度			
実績	新規認証数	2	認証のみ	2	新規認証数	1	認証のみ	1
			補助金 交付数	0			補助金 交付数	2
運営数	21(継続 19＋新規 2)				19(継続 19＋新規1 - 辞退1)			

V 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

- ① 認知症しずメール・認知症見守りシール：徘徊で行方がわからなくなった認知症高齢者を、行政だけでなく、警察や地域の方などの協力を得て、早期に発見し、事故を未然に防ぐため、搜索が必要な高齢者の情報をメール配信したり、搜索時の目印となる見守りシールを配付する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R 6 計画	R6 実績
徘徊認知症高齢者見守りシステム（しずメール）新規登録者数	250人	※R7.3.31 にシステム集計

徘徊認知症高齢者見守りシステム（しずメール）新規登録者数

	R3	R4	R5
メール	138	58	34
LINE	—	6,130	3,315
計	138	6,188	3,349

見守りシール配布数

R6シール 配付件数	R5年度末までの 配布累計数
57	513

メール配信

R6しずメール 配信数	配信数のうち 発見（保護）数
5	5

- ②認知症地域支えあいプログラム実施事業：認知症による行方不明者が発生した場合の搜索練習や認知症の方を地域で見かけた時の声かけの手法等、認知症の本人やその家族を地域で見守り支え合うために必要な知識や技術を身につけるためのプログラムを住民主体で企画・実施する活動を支援する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R 6 計画	R 6 実績
認知症地域支えあいプログラム企画地区数	2地区	2地区
認知症地域支えあいプログラム実施地区数	3地区	3地区

●認知症地域支えあいプログラム実施状況

以下の地域においてプログラムを実施した。

(1)長尾川圏域(西奈地区)

内容 認知症サポーター養成講座及び徘徊模擬訓練(声掛け訓練)

日時 令和7年1月19日(日) 9:00～11:30

場所 瀬名の郷

実行委員 67名 + 講師 1名

(内訳)

長尾川地域包括支援センター

長尾川圏域専門職

学区顧問

西奈自治連合会

北沼上自治連合会

民生院

S型デイサービスボランティア

子育てボランティア

社会福祉協議会

(2)大里高松圏域

内容 アルツハイマーデーイベントの開催

日時 令和6年9月21日(土) 10:00～16:00

場所 アピタ静岡店

実行委員 11名

静岡市役所地域包括ケア・誰もが活躍推進本部

八幡山地域包括支援センター

大谷久能地域包括支援センター

大里中島地域包括支援センター

大里高松地域包括支援センター

長田地域包括支援センター

丸子地域包括支援センター

南部図書館

(3)港南圏域(清水地区)

内容 認知症サポーター養成講座及び地域住民の認知症を考える検討会

日時 令和6年8月25日(日)

場所 清水生涯学習交流館

実行委員 12名

静岡市社協 3名

港南地域包括支援センター 1名

清水地区社協 3名

静岡市役所地域包括ケア・誰もが活躍推進本部 1名

介護事業所 3名

学校応援団コーディネーター 1名

③ チームオレンジ運営支援事業：認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援に繋げる仕組み（チームオレンジ）の立ち上げに向けた活動を支援する。（2025 年までに全市町村で整備）

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R 6 計画	R 6 実績
チームオレンジ新規立ち上げチーム数	3チーム	3チーム

●チームオレンジ立ち上げ状況

年度	チーム名	圏域	ステップアップ研修
令和 2 年度	チームオレンジ駒形	城西	令和 2 年 11 月 14 日
令和 3 年度	-		
令和 4 年度	チームオレンジみ・て・こ	大里高松	令和 4 年 7 月 26 日
	チームオレンジ大谷久能	大谷久能	令和 4 年 10 月 15 日
	チームオレンジ長田西	丸子	①令和 4 年 10 月 13 日 ②令和 4 年 11 月 29 日
令和 5 年度	チームオレンジ袖師	港北	令和 5 年 10 月 27 日
	チームオレンジ今宿チーム	蒲原由比	令和 5 年 11 月 17 日
	オレンジ野ばらの会	大里中島	令和 5 年 12 月 12 日
令和 6 年度	チームオレンジ（名称未定）	八幡山	令和 6 年 12 月 13 日
	チームオレンジ（名称未定）	長尾川	令和 6 年 12 月 16 日
	チームオレンジポピー	三保	令和 7 年 1 月 14 日

- ④「認知症の人にやさしい地域づくり」モデル創出事業：認知症になっても希望を持って暮らし続けることができる社会を構築するため、チームオレンジを核として「認知症の人にやさしい地域づくり」のモデルを創出し、広く普及を図る。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R 6 計画	R 6 実績
モデル創出地域での実施	実施	実施

●令和 6 年度モデル地域

清水区今宿学区（チームオレンジ今宿）

●実施状況

- 第 1 回検討会議：令和 6 年 4 月 10 日（水）、14：00～ @蒲原由比地域包括支援センター
 第 2 回検討会議：令和 6 年 5 月 2 日（木）、10：00～ @由比交流センター
 第 3 回検討会議：令和 6 年 7 月 5 日（金）、11：00～ @今宿自治会館
 第 4 回検討会議：令和 7 年 1 月 9 日（木）、13：00～ @蒲原由比地域包括支援センター
 第 5 回検討会議：令和 7 年 1 月 31 日（金）、10：00～ @由比生涯学習交流館
 第 6 回検討会議：令和 7 年 2 月 7 日（金）、9：30～ @今宿自治会館

●成果

- （１）S 型デイサービスを主体とした団体をモデルとすることにより、認知症に移行している最中の者、認知症になってしまった者についての受け止め方や体制作りについて技術を抽出することができた。
 今回の成果物としては、静岡福祉大学教授を招き、蒲原・由比地区の S 型デイサービス運営者及びそのスタッフすべてを対象に交流会と称して、チームオレンジ今宿の代表者からノウハウを伝達してもらう予定。

●活動報告会

- （１）令和 7 年 3 月 18 日（火）、由比生涯学習交流館

Ⅵ 認知症ケア推進センターの取組みについて

- ① 認知症ケア推進センター：認知症ケアを推進する拠点として、認知症の本人やその家族の支援を行うとともに、全世代を対象として広く認知症予防や認知症の理解促進に係る事業を展開する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R 6 計画	R 6 実績
来場者数	5, 000人	10, 454人

●来場者数

	総数			月平均		
年度	R4年度	R5年度	R6年度	R4年度	R5年度	R6年度 (R7.1月末)
実績	10,549	12,920	10,454	879	1,077	1,045

●相談件数

	総数			月平均		
年度	R4年度	R5年度	R6年度	R4年度	R5年度	R6年度 (R7.1月末)
実績	412	444	539	34	37	54

Ⅶ 認知症予防の取組みについて

① 静岡型M C I 改善プログラム普及事業

認知症の一步手前の状態である、M C I（軽度認知障害）の改善に効果がある静岡市独自のプログラムを、各区 1 箇所の常設会場で実施、S 型デイサービス等の通いの場での体験会を実施。

体験会に参加した S 型デイサービスへプログラムの DVD の配布や、YouTube 動画の配信も実施しており、プログラムの普及を広く図る。

活動指標（年）	R 6 計画	R 6 計画
プログラム参加人数	4,000 人	3,801 人

●静岡型認知症・MCI 予防プログラム参加延べ人数

年度	R5年度	R6年度
プログラム参加延べ人数	3,700	3,801

令和6年度 第2回静岡市認知症対策推進協議会 資料

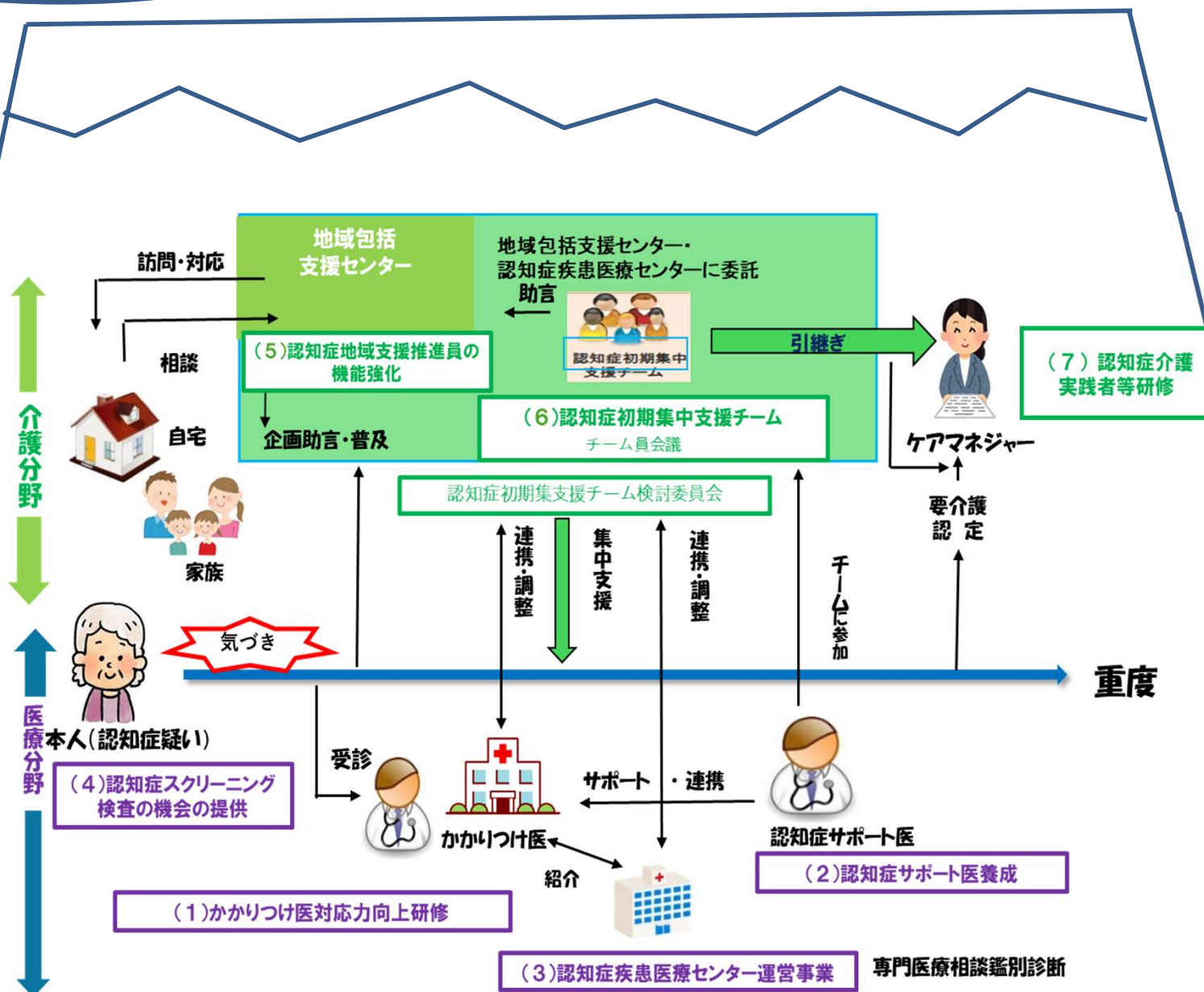
令和7年度静岡市認知症施策年間計画 (案)

静岡市保健福祉長寿局
地域包括ケア・誰もが活躍推進本部

令和7年度 静岡市の認知症施策の全体像

主に静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の山頂

医療分野・介護分野



地域づくり

主に静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の山腹

(8) 認知症サポーター養成講座

(9) 認知症ミニ講演会

(10) パンフレット
「みんなの認知症予防」

(11) 静岡型認知症・MCI予防プログラム普及事業

普及啓発

(12) 静岡市認知症
ケア推進センター

(13) 認知症地域支え合い
プログラム実施事業

(14) 若年性認知症施策推進事業

(15) 認知症高齢者見
守り事業

(16) 認知症カフェ普及促進事業

(17) チームオレンジ運営支援事業

(18) 「認知症の人にやさしい地域づくり」
モデル創出事業

地域のネット
ワーク構築

(1) かかりつけ医認知症対応力向上研修

目 的

かかりつけ医に対する認知症対応力向上研修を実施することで、認知症の発症初期から、状況に応じ、医療と介護が一体となった支援体制の構築を図る。

内 容

診療科名を問わず、本県で勤務(開業を含む)する医師を対象に、かかりつけ医認知症対応力向上研修を1回開催予定。

(2) 認知症サポート医養成事業

目 的

認知症に係る地域の医療を支援するとともに、医療と地域の関係機関とのネットワークづくりを進めるため、認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行うとともに、専門医療機関や地域包括支援センターなどとの連携の推進役となる認知症サポート医を養成する。

内 容

静岡医師会、清水医師会にご協力をいただき、3人養成予定。

(3)-1 認知症疾患医療センター運営事業

目 的

保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修等を行うことにより、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図る。

内 容

- ①専門医療の提供（鑑別診断とそれに基づく初期対応） ②周辺症状と身体合併症への急性期対応
③専門医療相談（電話・面接、専門医療機関紹介） ④認知症疾患医療連携協議会の設置、運営
⑤かかりつけ医や従事者等への研修、市民等への普及啓発

指定病院

指定病院	型	指定日	指定期間①	指定期間②	指定期間③	指定期間④
静岡てんかん・神経医療センター	地域型	H26.2.1	H26.2.1～ H29.3.31	H29.4.1～ R2.3.31	R2.4.1～ R5.3.31	R5.4.1～ R8.3.31
医療法人社団リラ 溝口病院	地域型	H27.10.1	H27.10.1～ H31.3.31	H31.4.1～ R4.3.31	R4.4.1～ R7.3.31	R7.4.1～ R12.3.31
静岡市立清水病院	地域型	H28.10.1	H28.10.1～ R2.3.31	R2.4.1～ R5.3.31	R5.4.1～ R8.3.31	

(3)-2 認知症疾患医療センター運営事業

(出典 厚生労働省)

◆認知症疾患医療センター 類型

認知症疾患医療センター運営事業

- 認知症疾患に関する鑑別診断や医療相談を行うほか、地域での認知症医療提供体制の構築を図る事業（H20年度創設）
- 本人や家族に対し今後の生活等に関する不安が軽減されるよう行う「診断後等支援」や、都道府県・指定都市が行う地域連携体制の推進等を支援する「事業の着実な実施に向けた取組」なども実施
- 実施主体：都道府県・指定都市（病院または診療所を指定）
- 設置数：全国に**509カ所**（令和6年12月現在）

		基幹型Ⅰ	基幹型Ⅱ	地域型	連携型
主な医療機関		総合病院、大学病院等		精神科病院、一般病院	診療所、一般病院
設置数（令和6年12月現在）		16カ所	5カ所	388カ所	100カ所
基本的活動圏域		都道府県圏域		二次医療圏域	
専門的医療機能	鑑別診断等	認知症の鑑別診断及び専門医療相談			
	人員配置	・専門医又は鑑別診断等の専門医療を主たる業務とした5年以上の臨床経験を有する医師（1名以上） ・臨床心理技術者（1名以上） ・精神保健福祉士又は保健師等（2名以上）		・専門医又は鑑別診断等の専門医療を主たる業務とした5年以上の臨床経験を有する医師（1名以上） ・臨床心理技術者（1名以上） ・精神保健福祉士又は保健師等（2名以上）	・専門医又は鑑別診断等の専門医療を主たる業務とした5年以上の臨床経験を有する医師（1名以上） ・看護師、保健師、精神保健福祉士、臨床心理技術者等（1名以上）
	検査体制 （※他の医療機関との連携で可）	・CT ・MRI ・SPECT（※）		・CT ・MRI（※） ・SPECT（※）	・CT（※） ・MRI（※） ・SPECT（※）
	BPSD・身体合併症対応	救急医療機関として空床を確保	急性期入院治療を行える他の医療機関との連携で可		
	医療相談室の設置	必須			—
地域連携拠点機能		・地域への認知症に関する情報発信、普及啓発、地域住民からの相談対応 ・認知症サポート医、かかりつけ医や地域包括支援センター等に対する研修の実施 ・地域での連携体制強化のための「認知症疾患医療センター地域連携会議」の組織化等			
診断後等支援機能		・診断後等の認知症の人や家族に対する相談支援や当事者等によるピア活動や交流会の開催			
アルツハイマー病の抗アミロイドβ抗体薬に係る治療・相談支援等機能		・認知症の人や家族からの抗アミロイドβ抗体薬に係る治療についての相談対応・支援、地域の医療機関からの相談対応、また、地域の医療機関等と連携し、当該治療の適応外である者への支援等			
事業の着実な実施に向けた取組の推進		都道府県・指定都市が行う取組への積極的な関与		※基幹型が存在しない場合、地域型・連携型が連携することにより実施	

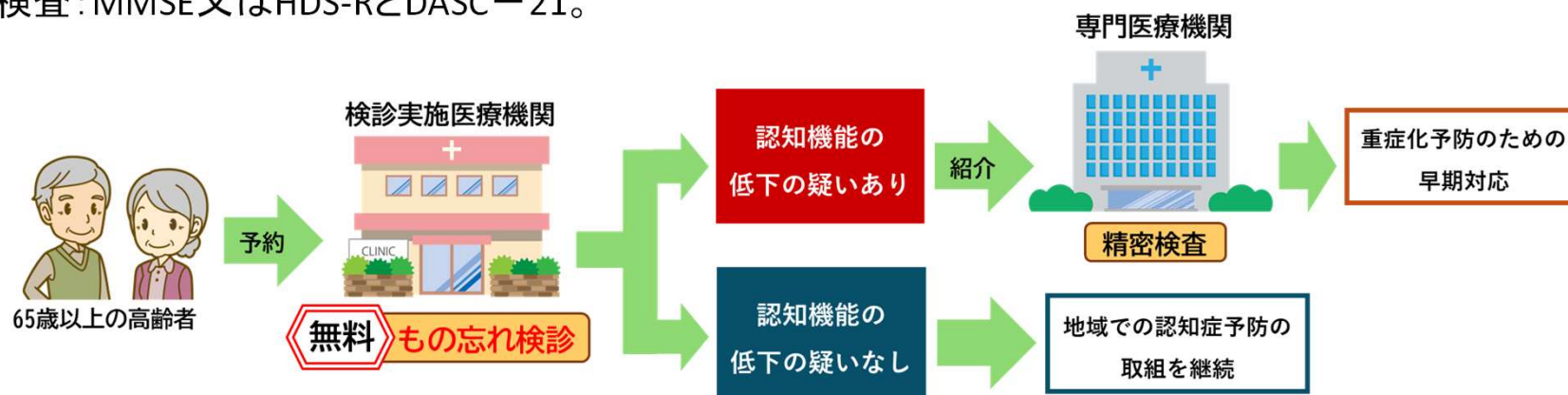
(4) 認知症スクリーニング検査の機会の提供

目 的

65歳以上の高齢者を対象に、1年に1回認知症のスクリーニング検査を無料で受けることができる機会を提供し、認知症を早期発見・早期対応することを促進し、認知症に発症を遅らせることで健康寿命を延伸する。

内 容

- 概 要: 市民が協力医療機関で認知症スクリーニング検査を受けた際の費用を無償化。(年1回)
- 事業開始: R7. 6～
- 対 象: 65歳以上の高齢者。R7年度の実施見込件数は約1,800人(先行自治体の実施状況から推計)。
認知症になるリスクが高まり始める、R7年度に75歳になる方(約1万人)には、全員に勧奨通知を送付。
- 実施検査: MMSE又はHDS-RとDASC-21。



(5) 認知症地域支援推進員の機能強化

目 的

医療機関と介護サービス及び地域の支援機関を繋ぐコーディネーターとして、各地域包括支援センターごとに認知症地域支援推進員を配置し、地域の実情に応じた認知症地域支援体制を日常生活圏域ごとに構築する。

内 容

静岡市地域包括ケア・誰もが活躍推進本部に1名、地域包括支援センターに29名配置。定期的な連絡会の開催や研修を実施し、推進員同士の連携強化や資質向上を図る。

(6) 認知症初期集中支援推進事業

目 的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、支援につながっていない認知症の人やその家族を支援につなげるために、集中的に支援を行う「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

内 容

市内30箇所(地域包括支援センター29箇所、静岡てんかん・神経医療センター)にチームを配置し、認知症サポート医等と情報共有・連携を図りながら事業を行う。

(7) 認知症介護実践者等研修事業

目 的

認知症高齢者に対して適切な知識と技術により介護サービスが提供されるよう、事業者の知識、経験、職種等に応じた研修を開催し、介護技術の向上、専門的な人材の養成など、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。

内 容

全6種類の研修(実践者研修、実践リーダー研修、開設者研修、管理者研修、計画作成担当者研修、指導者養成研修)を開催する。

(8) 認知症サポーター養成講座

目 的

認知症サポーター養成講座を実施することで、認知症医療の正しい知識を普及し、認知症を理解し、温かく見守る地域の体制づくりを図る。

(※) 認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず自分のできる範囲で、認知症の人やその家族を見守る応援者。

内 容

静岡市認知症ケア推進センター“かけこまち七間町”にて市主催講座を定期開催するほか、民間企業、地区組織、学校等の団体申込にて年間5,400人のサポーターを養成予定。

(9) 認知症ミニ講演会

目 的

「認知症の症状」や「早期発見のポイント」、「予防」や「治療」に関する最新情報等についての講演会を、現役の医師を講師として開催することで、市民の認知症への“関心”や“理解”を深め、同時に認知症への“備え”の意識を高めることで、いつ・誰が認知症になっても安心して暮らし続けることができるまちづくりを進める。

内 容

静岡市、静岡医師会、清水医師会、エーザイ(株)の4者協定に基づき、市民や企業等からの申込みに応じて開催予定。

(10)パンフレット「みんなの認知症予防」改訂・配布

目 的

認知症の予防から発症、その後の症状の進行に応じたサービス情報や対応等について記載した「みんなの認知症予防」パンフレットについて、市民ニーズやサービス、制度の状況に応じた見直しを行い、その活用を促進することで、広く認知症への理解を促進する。

内 容

2025年度版を9,000部作成配布予定。

(11) 静岡型MCI改善プログラム普及事業

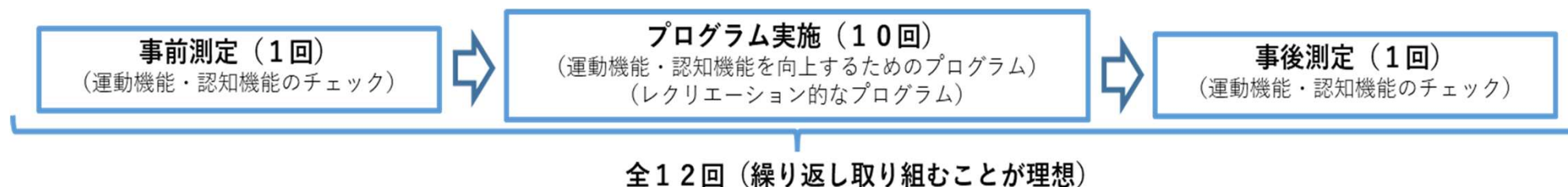
目 的

認知症の予防にはMCIの段階からの早期介入が有効であることから、令和4年度に作成した静岡型MCI改善プログラムの普及を図る。

内 容

◎プログラム内容

- ・令和4年度に開発した、認知症の一手手前の状態である、MCI(軽度認知障害)の改善に 効果がある静岡市独自のプログラム。
- ・運動、脳トレ、レクリエーションのパートから成り、1回の実施は約1時間で、毎週1回・10週を1クールとしている。



◎R7年度の取組

※民間事業者へ委託して事業を実施

- ・各区1か所(葵区:ラベック静岡、駿河区:みなくる、清水区:清水テルサ)の常設会場でのプログラム実施。
- ・S型デイサービス等の通いの場での体験会を30回実施。
- ・プログラムの動画配信、啓発動画配信・啓発リーフレットの配布。

(12) 静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」

目 的

認知症ケアを推進する拠点として、認知症の本人やその家族の支援を行うとともに、全世代を対象として広く認知症予防や認知症の理解促進に係る事業を展開する。

内 容

①認知症に関する相談や常設機器を利用した健康チェック等の対応

生活支援・家族支援、認知症介護の訪問レッスン、紹介とつなぎ、脳の機能チェック、身体機能のチェック など

②普及啓発と理解促進

認知症サポーター養成講座、認知症予防のイベント、認知症VR体験 など

R6年度実施の在り方の再整理により追加される新コンセプト

(1) 認知症の『早期発見』のランドマーク

＝「かけこまち」から、早期発見・早期介入の重要性について、率先して情報発信を行う。

- ・中心市街地という立地を活かし、施設内掲示や七間町商店街との連携など、広く無関心層を対象とした啓発を行う。
- ・R7新規事業の「静岡市もの忘れ検診」と連携し、認知症予防・早期発見についての情報発信を行う。

(2) 認知症支援についてのコンシェルジュ(＝案内役・総合世話係)

＝認知症のことで困らないための相談支援。問題の複雑困難化の防止に総合的に対応。

駅前の気軽に利用できる相談窓口として機能を強化し、既存の医療・介護サービスの利用に繋がるまでの支援を総合的に行うことで、地域包括支援センター等の他の支援機関との棲み分けを図る。

(3) 市内認知症関連情報のプラットフォーム

＝市内全ての認知症関連情報を集結させ、『静岡市の認知症のことは、まずは「かけこまち」に聞く』という状態を作る。

- ・独自のSNSの開設。

(13) 認知症地域支え合いプログラム実施事業

目 的

認知症を地域で支えるために必要な取り組み(プログラム)を住民主体で企画、実施することで、地域住民の認知症への正しい理解を促進するとともに、認知症になっても地域で支え合いながら生活できるという意識を醸成し、“認知症と共生する地域づくり”を進める。

内 容

認知症による行方不明者が発生した場合の搜索練習や認知症の方を地域で見かけた時の声かけの手法等、認知症の本人やその家族を地域で見守り支え合うために必要な知識や技術を身につけるためのプログラムを住民主体で企画・実施する活動を支援する。

(14) 若年性認知症施策推進事業

目 的

若年性認知症の方や家族に対する支援として、市民や企業等へ、当事者への理解を深める取組を進める。

内 容

- (1) 若年性認知症の方やご家族の交流会の場を定期的に設け(年3回予定)社会参加を促し、ご本人やご家族の孤立感の緩和を図るとともに、若年性認知症に関して必要な支援の聞き取りを継続して行う。
- (2) 若年性認知症に関する普及啓発として、地域や企業を対象に映画上映会を開催し、関係機関への啓発に取り組む予定。

(15) 認知症高齢者見守り事業

目 的

徘徊で行方がわからなくなった認知症高齢者を、行政だけでなく、警察や地域の方などの協力を得て、早期に発見し、事故を未然に防ぐため、搜索が必要な高齢者の情報をメール送信したり、搜索時の目印となる見守りシールを配布する。

内 容

ちらしの配付等により事業周知を図り、メールを受信し出来る範囲の搜索の協力をしていただける見守り協力者と徘徊のおそれのある事前登録者の登録者数を増やす。

(16) 認知症カフェ普及促進事業

目 的

認知症の人及び介護をする家族の負担を軽減するとともに、地域住民の認知症への理解を深めるため、身近な地域で認知症の人やその家族と地域の専門職、住民等が交流し、相互の情報を共有しお互いを理解し合う場である「認知症カフェ」の普及を図る。

内 容

新規の認知症カフェの募集を行いつつ、認知症地域支援推進員とともに認知症カフェの周知・啓発及び認知症カフェ運営者の支援を行う。

(17) チームオレンジ運営支援事業

目 的

認知症の人ができる限り地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、“認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援に繋げる仕組み(チームオレンジ)”を地域ごとに整備することで、認知症施策推進大綱に掲げた「共生」の地域づくりを推進する。

内 容

(1) チームオレンジ立ち上げ支援

- ・ステップアップ講座等、地域における認知症支え合い体制構築のための講座や勉強会の開催支援
- ・地域における事業説明会、チーム立ち上げ検討会の開催支援

(2) チームオレンジ運営支援

- ・チーム活動方針検討会議の開催支援

(18)「認知症の人にやさしい地域づくり」モデル創出事業

目 的

認知症になっても希望を持って暮らし続けることができる社会を構築するため、「認知症の人にやさしい地域づくり」のモデルを創出し、広く普及を図る。

内 容 : R6年度は今宿地区にて実施。令和7年1月末現在、次年度モデル地区を選定中。

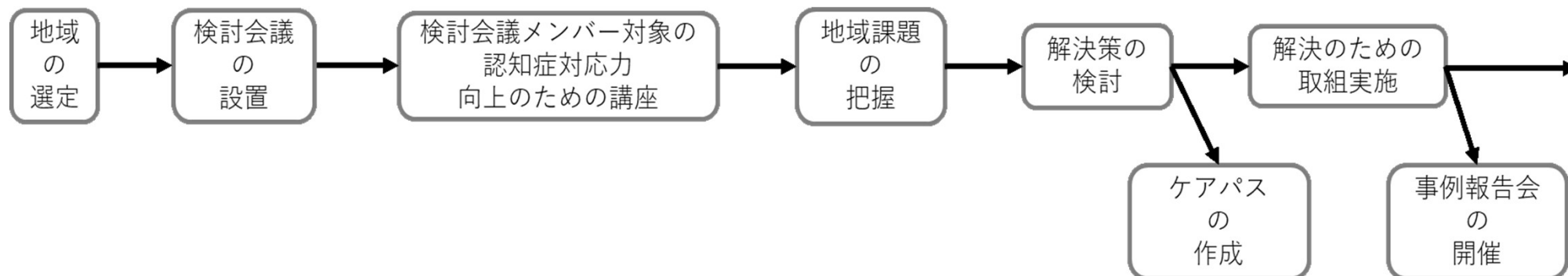
◎「認知症の人にやさしいまち」を目指した課題解決のための、地域住民及び地域の専門職で構成される検討会の立ち上げ及び運営の支援

○構成メンバー: 自治会役員、民生委員、地域内企業、地域内専門職、生活支援コーディネーター
認知症地域支援推進員、その他住民、了解がいただければ本人・家族、

○サポート内容: 会議のコーディネート
会議へのアドバイザー・専門家の派遣
地域での認知症対応力向上のための講座や、普及啓発事業の開催 など

◎取組内容の報告会の実施(年度末・1回)

<1年の流れ>



(19) 認知症基本法に基づく静岡市の計画策定について

経 過

- ・令和6年1月1日：共生社会の実現を推進するための認知症基本法 施行
→地方自治体に認知症施策推進計画策定の努力義務が課される。
- ・令和6年12月3日：国の認知症施策推進基本計画が閣議決定される

本市の計画策定の方針

- ・策定時期は、令和9年4月1日を予定。
↑ 健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画（高齢者福祉計画・介護保険事業計画）の次期改訂に合わせて策定。

R7年度の予定

- ・国の計画をもとに、計画の位置づけ（まちづくり計画と統合/独立など）と、内容の大枠を決定。
- ・秋ごろ、市民の認知症についてのイメージ・理解度・ニーズ等を把握するための実態調査を実施。

令和 6 年度 静岡市認知症疾患医療センター指定更新について

1 概要

本年度をもって指定期間が満了する病院の継続にあたり、公平性を期するために市内病院に参入の可否について意向調査を実施したところ、既存センター以外の病院からの意向はありませんでした。

そのため、公募は行わず、既存センターの指定を継続するため手続きを実施しました。

2 対象となる認知症疾患医療センターの指定状況

病院名	指定日	現在の指定期間
医療法人社団リラ 溝口病院	平成 27 年 10 月 1 日	令和 4 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

3 指定更新に関する方針について

令和 3 年度第 2 回認知症対策推進協議会（令和 3 年 9 月 22 日開催）において、指定期間が満了する認知症疾患医療センターの選考方法について、下記事務局案により行うことのでした承を得ておりますが、令和 5 年度第 2 回認知症対策推進協議会（令和 6 年 2 月 28 日）において改めて了承を得ました。

（事務局案）

選考にあたっては、公平性の確保の観点から、市内病院に認知症疾患医療センター運営の意向調査を実施し、既存の指定病院以外に意向があり、かつ、指定選考評価基準を満たす場合は公募、既存の指定病院のみ意向がある場合は、指定選考評価基準を確認の上、継続して指定することとする。

4 指定期間について

令和 5 年度第 2 回認知症対策推進協議会において、指定期間を 5 年間にすることはできないかと委員からご意見をいただき他政令市の状況を調査し、1 / 4 程度の政令市が指定期間を 5 年間としていました。

この状況について令和6年度静岡市認知症疾患医療連携協議会（令和6年7月30日）において説明を行い、今後指定するセンターの指定期間を5年間にすることで了承を得ました。

5 認知症疾患医療センターの参入意向調査結果について

意向調査結果については、以下のとおりでした。

- (1) 実施時期 令和6年8月2日～令和6年9月2日
- (2) 調査対象施設 市内調査対象病院 23箇所・既存センターを除く
- (3) 調査方法 調査依頼をメールで送信し、電子申請システムより回答を得た。
- (4) 調査結果

回答した病院	4箇所
「意向がある」と回答した病院	1箇所
「意向がない」と回答した病院	3箇所

6 選考実施状況

- (1) 日 時 ①書類審査 令和6年12月11日（水）～12月18日（水）
②選考委員会 令和6年12月26日（木）

(2) 選考結果

施設名	指定期間	選考結果
医療法人社団リラ 溝口病院	令和7年4月1日 ～令和12年3月31日	可

7 令和8年3月末指定期間満了の静岡てんかん・神経医療センター、清水病院の更新について

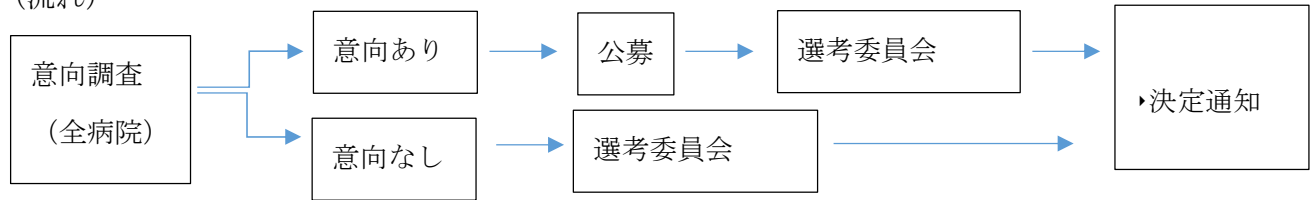
指定更新については、令和6年度に実施した溝口病院の指定更新と同様の方針で行います。

今後の予定

市内の全病院に対し、センター指定の意向調査を実施し、既存のセンター以外の病院から意向があった場合は公募を行います。公募後は、専門家に意見を伺いながら選考委員会において、選定します。

意向がなかった場合は、静岡てんかん神経医療センターと清水病院を指定期間満了後も継続して指定していくこととします。

(流れ)



6 今後のスケジュール

意向調査	令和7年7月下旬
意向調査の結果	令和7年10月中旬
選考委員会の開催	令和7年12月下旬
選定結果の通知	令和7年12月下旬
厚労省へ報告	令和8年1～2月下旬
指定日	令和8年4月1日

公募を行う場合に該当

公募期間	令和7年10月中旬～11月下旬
------	-----------------